

松江第一中学校応援団実践報告書

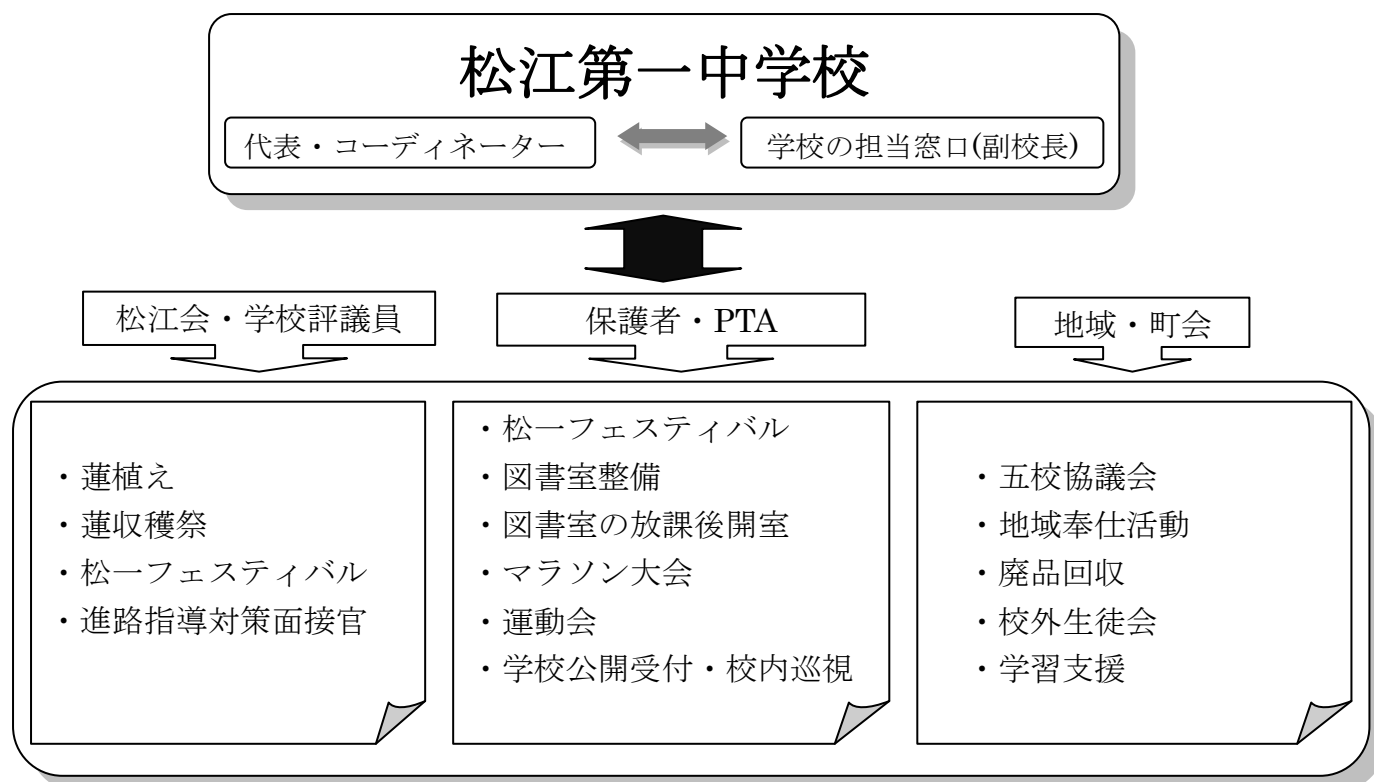
1 校長及びコーディネーター氏名

松江第一中学校長 宇田川 功
代表 中里 義雄

2 今年度の活動内容

| 応援団の種類 | 応援団の名称 | 活動内容 |
|--------|---|---|
| 行事活動 | 蓮田の蓮植え 蓮田収穫祭 松一フェスティバル 運動会 マラソン大会 | ○種蓮を植える、特別支援学校との交流活動。 ○蓮の収穫、特別支援学校との交流活動。 ○模擬店、バザー運営。 ○運動会の自転車整備、安全確保。 ○マラソンコースの安全確保。 |
| 学習活動 | 学習支援 進路対策面接指導 | ○土曜質問教室での支援。 ○3年生の進路指導対策のための面接官。 |
| 地域奉仕活動 | 校外生徒会 | ○町会、自治会別での地域清掃、廃品回収等奉仕活動。 |
| 図書活動 | 図書室整備 | ○本の修理や本の整頓。 ○本を購入する際の選定の手伝い。 ○放課後に図書室を開室。 |

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

<成果>

- ・「学校応援団」という名称が、今までOB、PTA、地域等が行ってくれていた支援活動をまさしく学校を応援しているという意識をもたらし、とてもプラスになっている。
- ・昨年度より図書室ボランティア活動が組織され、夏休み中に図書室の蔵書の整理ができた。今年度は、年度当初よりボランティアを募り、放課後に図書室を開室することができた。また、図書購入の際に本の選定作業の手伝いもしていただいた。
- ・子供たちの教育は、学校だけでなく家庭、地域も関わりながら三位一体で行っていく必要があるということがより明確になった。

<課題>

- ・学校評議員による面接指導が日程が合わず、今年度は実施することができなかった。今後も日程調整の必要がある。
- ・学習支援のボランティアの人数を確保することが、毎年の課題となっている。
- ・図書室ボランティアの活動を今年度活発に行うことができたが、担当教員との打ち合わせ等の日程や内容の調整をよりスムーズに行うこと。

5 図書ボランティア代表より

PTA役員の遠藤です。昨年度より図書ボランティアを立ち上げ、昨年は夏休みに図書室の清掃、図書や閲覧席の整備等を行いました。図書室をもっとたくさんの生徒さんに活用してもらうにはどうしたらよいのか。そして、ボランティアとしてどのような手助けができるかを模索してきました。

今年度は保護者から要望が多かった、部活動で再登校をせずに図書室で過ごすことができるよう、放課後に図書室を開室することに取り組みました。どのくらいの生徒が希望するのか、生徒の指導をきちんとできるのか、ボランティアの人員を確保できるのか等様々な課題がありましたが、なんとか実施することができました。来年は、さらに開室日を増やしていきたいと思います。

また、学校応援団のために活動費を用意していただき、ありがとうございました。

今後も松江一中のためにできることに積極的に取り組んでいきたいと思っています。

6 学校長より

本校では、学校応援団として活動する以前から学校評議員、PTA、地域の方、松江会（OB会）をはじめたくさんの方から様々なご支援をいただけてきました。そして、現在ある組織を活用して「学校応援団」を発足しました。

本校前PTA会長の中里代表を中心に蓮田活動や松一フェスティバル、図書ボランティア等さらに盛り上げていただければと思います。

子どもは地域の宝です。学校・家庭・地域が連携、協働して育てなくてはなりません。その共育の核となる「学校応援団」をさらに充実させていこうと思います。